

# 障害科学研究所

2019年3月31日発行

第43巻

## 資料

- 1 吳 允熙・岡 典子：  
韓国における自立生活理念への着目 ―障害者福祉新聞における言及を中心に―
- 15 王 青童・竹田 一則：  
中国における保護者の視点から見た小児がん患児の教育的ニーズの実態  
―河南省鄭州市における検討―
- 25 青木 康彦・野呂 文行：  
自閉スペクトラム症児における強化子として自己刺激性強化子を産出する玩具を使用した随  
伴ペアリングの予備的検討 ―称賛の条件性強化子成立を通して―
- 33 奈良 里紗・小林 秀之：  
視覚障害特別支援学校の早期教育相談に対する教師の自己効力感に影響を与えた契機の実態
- 47 相羽 大輔・奈良 里紗・増田 雄亮・鈴木 祥隆：  
見えにくさを補う手段の違いが弱視学生支援に対する健常学生の態度に及ぼす効果
- 59 木村 素子：宮崎県の特別支援学校における聾重複障害児の在籍状況と児童生徒の実態  
―学級担任等への聞き取り調査を通して―
- 73 二宮 一水・佐島 毅：  
通常の小学校で学ぶ弱視児童の図画工作における刃物の使用の困難と指導の工夫  
―弱視通級指導担当教員を対象とした面接調査から―
- 87 中野 泰伺・岡崎 慎治：  
Stop-signal課題における刺激の意味的関連性が反応制御過程に及ぼす影響の生理心理学的検討  
―定型発達成人におけるADHD傾向との関連から―
- 99 本間 貴子・杉田 葉子・根本 文雄・米田 宏樹：  
知的障害特別支援学校に通学する児童・生徒の移動ニーズの分析  
―移動指導プログラムの検討のための予備的調査として―

## 短報

- 117 森地 徹・大村 美保・小澤 温：  
放課後等デイサービスにおける支援の現状に関する研究

## 展望

- 125 藤原 あや・園山 繁樹：  
わが国における保育場で場面緘黙を示す幼児の支援に関する文献的検討
- 137 井口 亜希子・原島 恒夫・田原 敬：  
聴覚障害幼児の言語獲得における指文字の役割に関する文献的考察  
―指文字獲得過程と語彙獲得の側面から―
- 149 前田 真理子・小島 道生：  
日本のダウン症児者の平仮名の読み書きに関する研究の成果と課題  
―海外の先行研究との比較を通して―

## 実践報告

- 163 末富 真弓・五味 洋一・佐々木 銀河・中島 範子・末吉 彩香・杉江 征・名川 勝・竹田 一則：  
発達障害学生における就労準備性を高める支援についての検討  
―「就職活動準備講座」の分析を通して―
- 173 真名瀬 陽平：  
自閉スペクトラム症と知的発達症のある男性に対する9マス将棋における遊びスキルの向上を  
目指した指導
- 183 趙 成河・河内山 冨・園山 繁樹：  
場面緘黙を示す幼児に対するクリニック型行動的介入の初期段階における刺激フェーディング法  
及び随伴性マネジメントの適用



# 障害科学学会

## 投 稿 規 定

1. 本誌は、障害科学学会の機関誌であり、年1巻発行する。なお巻号は前身の雑誌である「心身障害学研究」を引き継ぐものとする。
2. 本誌の執筆者は障害科学学会会員に限る。
3. 本誌の編集は、障害科学学会編集委員会の責任のもとに行われる。
4. 本誌には未公開の和文または英文で書かれた障害科学に関する「原著論文」、「資料論文」、「短報」、「展望論文」などオリジナルな学術論文、実践報告会等でモデルとなりうるような「実践報告」のほか、編集委員会が認めた論文等を掲載する。
  - (1) 原著論文は、理論、実験、事例、実践等に関する研究論文とする。
  - (2) 資料論文は、原著論文に準じた内容で、資料性の高い研究論文とする。
  - (3) 短報は、研究成果の速報や一次的な報告とする。
  - (4) 展望論文は、障害科学に関係のある課題について、内外の諸研究の成果を概観し、総合的に展望した研究論文とする。
  - (5) 実践報告は、実践報告会、事例研究会等でモデルとなりうる報告とする。
5. 論文は、査読委員によって審査され、編集委員会において、その掲載の可否が決定される。
6. 規定枚数を超過したもの、および図表、写真等の製版・印刷等、特に費用を要するものは、別途執筆者の負担とする。
7. 別刷りは執筆者の負担とする。
8. 本誌に掲載された論文等の著作権は障害科学学会に帰属し、無断で複製あるいは転載することを禁ずる。
9. 投稿論文の内容について、十分に人権および倫理上の配慮がなされていなければならない。

## 執 筆 規 定

1. 原稿の仕様 原則としてワープロを用い、A4判用紙に25字×32行（800字）で印字された原稿を提出すること。A4判用紙の原稿2.5枚は刷り上がり1頁に相当する。和文では、本文、文献、図表、要約をすべて含めた論文の刷り上がり頁数は、原著論文、資料、実践報告、展望は10頁を上限とする。英文では、本誌8頁（approximately 550 words per page; including Abstract, References, Tables, and Figures）を上限とする。また、短報は和文で5頁、英文で4頁とする。これを超過する論文については、編集委員会での掲載の可否を決定する。
2. 提出原稿 原著論文・資料ともに、オリジナル1部とコピー2部を添えて提出すること。また提出原稿はA4判とし、表紙には和文表題、英文表題、執筆者名、代表者の連絡先（電話番号を含む）を明記すること。なお、論文採択後には電子ファイルを提出する。
3. 図表など 白紙に黒色インクで明瞭に書かれたものを用い、写真を用いる場合は鮮明なものを提出すること。表や図の番号はTable 1, Fig. 1のように記入し、表題、説明ともに一括して別紙に記載すること。また、本文中にその挿入箇所を明示すること。
4. 和文要約 和文論文および英文論文には、問題、方法、結果、結論の概要をほぼ把握できるように、和文で400字以内の要約と3～5項目の和文キーワードを本文とは別葉にて提出すること。
5. 英文要約 和文論文および英文論文には、英文表題、200～300ワードの英文要約、3～5項目の英文Key Wordsを本文とは別葉にて提出すること。
6. 表記 新かなづかい、常用漢字、算用数字を用いること。外国人名・地名等の固有名詞以外はなるべく訳語を用い、必要場合は初出の際にだけ原語を付す。文献は論文の最後にアルファベット順に一括して示すこと。雑誌文献記述の形式は、著者名、発行年、題目、雑誌名、巻数、論文所在頁の順とし、単行本文献記述の形式は、著者名、発行年、書名、出版社、出版地の順とする。
7. 註 必要がある場合は、本文中に1), 2) …のように上付きの通し番号で註を付し、すべての註を本文と文献欄の間に番号順に記載すること。
8. 印刷形式 印刷の体裁は編集委員会に一任する。
9. その他 執筆に関する詳細は、日本特殊教育学会の『「特殊教育学研究」和文論文執筆の手引き』と、最新のJournal of Special Education Researchの表紙裏Information for Contributorsに従うこと。

編集委員長	野呂 文行 (筑波大学)		
	編集委員(理事)	安藤 隆男 (筑波大学)	岡崎 慎治 (筑波大学)
		柿澤 敏文 (筑波大学)	河合 康 (上越教育大学)
		川間健之介 (筑波大学)	園山 繁樹 (筑波大学)
		竹田 一則 (筑波大学)	鄭 仁豪 (筑波大学)
		柘植 雅義 (筑波大学)	原島 恒夫 (筑波大学)
		米田 宏樹 (筑波大学)	
査読委員	石川由美子 (宇都宮大学)	三益 亜美 (大阪教育大学)	
	別府さおり (東京成徳大学)	尾崎 久記 (茨城大学)	
	武居 渡 (金沢大学)	東原 文子 (聖徳大学)	
	今中 博章 (福山市立大学)	大石 幸二 (立教大学)	
	小林 宏明 (金沢大学)	高野 聡子 (東洋大学)	
	池谷 尚剛 (岐阜大学)	一木 薫 (福岡教育大学)	
	前川 久男 (いわき短期大学)	松岡 勝彦 (山口大学)	
	真鍋 健 (千葉大学)	蒲生 俊宏 (日本社会事業大学)	
	澤 隆史 (東京学芸大学)	佐竹 真次 (山形県立保健医療大学)	
	任 龍在 (群馬大学)	佐藤 克敏 (京都教育大学)	
	四日市 章 (筑波大学)	相羽 大輔 (愛知教育大学)	
	渡部 匡隆 (横浜国立大学)	高橋 甲介 (長崎大学)	
	深澤美華恵 (福岡教育大学)	森 まゆ (広島大学)	
	有海 順子 (山形大学)	山中 克夫 (筑波大学)	
	左藤 敦子 (筑波大学)	八重田 淳 (筑波大学)	
	原島 恒夫 (筑波大学)	加藤 靖佳 (筑波大学)	
	柘植 雅義 (筑波大学)	熊谷 恵子 (筑波大学)	
	岡崎 慎治 (筑波大学)	宇野 彰 (筑波大学)	
	宮内 久恵 (筑波大学)	柿澤 敏文 (筑波大学)	
	米田 宏樹 (筑波大学)	川間健之介 (筑波大学)	
	宮本 昌子 (筑波大学)	和田 恒彦 (筑波大学)	
	小澤 温 (筑波大学)	安藤 隆男 (筑波大学)	
	園山 繁樹 (筑波大学)	森地 徹 (筑波大学)	
	名川 勝 (筑波大学)	鄭 仁豪 (筑波大学)	
	小林 秀之 (筑波大学)	大村 美保 (筑波大学)	
	野呂 文行 (筑波大学)	小島 道生 (筑波大学)	
	佐島 毅 (筑波大学)	竹田 一則 (筑波大学)	
編集幹事	野口 代 (筑波大学)	朝岡 寛史 (筑波大学)	
	趙 成河 (筑波大学)	石塚 祐香 (筑波大学)	

## 障害科学研究

第43巻 (2019, Vol. 43)

平成31年3月31日発行

編集 障害科学学会 編集委員会

発行 障害科学学会 会長 四日市 章

発行所 障害科学学会  
〒305-0836 茨城県つくば市山中152-4  
e-mail info@adsj.gr.jp

印刷所 前田印刷株式会社筑波支店  
〒305-0836 茨城県つくば市山中152-4  
電話 029(875)6696

## Brief Notes

- 1 Yunhee OH and Noriko OKA  
The Launch of the Newspaper, 'The Handicapped Weekly Korea', and Its Significance on Philosophy of Independent Living in Korea
- 15 Qingtong WANG and Kazunori TAKEDA  
Special Educational Needs from the Viewpoint of the Parents for Children with Cancer in China : Review in Zhengzhou City, Henan Province
- 25 Yasuhiko AOKI and Fumiyuki NORO  
A Preliminary Examination of Contingent Pairing Using the Toy Eliciting Automatic Reinforcer as a Reinforcer in Children with Autism: Establishing Praise as a Conditioned Reinforcer
- 33 Risa NARA and Hideyuki KOBAYASHI  
An Analysis of Opportunities Affected Teachers' Self-Efficacy with Regard to Early Education Consultation at Schools for the Visually Impaired
- 47 Daisuke AIBA, Risa NARA, Yusuke MASUDA and Yoshitaka SUZUKI  
The Effects of Difference in Means to Decrease Visual Difficulty on Nondisabled College Students' Attitudes Toward Academic Supports for Peers with Low Vision
- 59 Motoko KIMURA  
Qualitative Research: School Placement and Educational Needs of Deaf and Hard of Hearing Students with Multiple Disabilities in Special Schools in Miyazaki
- 73 Hitomi NINOMIYA and Tsuyoshi SASHIMA  
Difficulty of Using Edge Tools and Device of Teaching Methods in Arts and Crafts of Children with Partial Sight Studying in Regular Elementary School: From an Interview Survey for Resource Room Teacher for Children with Partial Sight
- 87 Yasushi NAKANO and Shinji OKAZAKI  
Psychophysiological Study of the Effects of Relations Between Target and Preceding Cue Stimulus of the Stop-signal Task on the Process of Response Control: View of The Relationships of ADHD Tendency in Typically Developed Adults
- 99 Takako HOMMA, Yoko SUGITA, Fumio NEMOTO and Hiroki YONEDA  
Analysis of Special Needs for Traveling of Students with Intellectual Disabilities in Special Needs School in Japan: Preliminary Investigation for Developing the Travel Training for People with Intellectual Disabilities

## Short Reports

- 117 Toru MORICHI, Miho OMURA and Atshshi OZAWA  
A Study on the Present Situation of Support for After-school Day Service

## Reviews

- 125 Aya FUJIWARA and Shigeki SONOYAMA  
A Brief Review of the Literature on Interventions for Preschoolers with Selective Mutism in Japan
- 137 Akiko IGUCHI, Tsuneo HARASHIMA and Kei TABARU  
A Review on the Studies of Fingerspelling and Vocabulary Acquisition in Children with Hearing Impairment
- 149 Mariko MAEDA and Michio KOJIMA  
Achievements and Issues Relating to the Reading and Writing of Hiragana in Children with Down Syndrome in Japan: Through Comparison with Previous Overseas Research

## Practical Report

- 163 Mayumi SUTOMI, Youichi GOMI, Ginga SASAKI, Noriko NAKASHIMA, Ayaka SUEYOSHI, Masashi SUGIE, Masaru NAGAWA and Kazunori TAKEDA  
Consideration on Support for Improving Employment Preparation for Students with Developmental Disabilities: Through the Analysis of "Job Hunting Preparation Course"
- 173 Youhei MANASE  
Instruction Aimed at Improving Playing Skills through Use of "9 Masu Syogi" with Adolescent with Autism Spectrum Disorder and Intellectual Developmental Disorder
- 183 Sungha CHO, Sae KOUCHIYAMA and Shigeki SONOYAMA  
Application of Stimulus Fading and Contingency Management with the Introduction of Clinic-based Behavioral Intervention for a Child with Selective Mutism